

# 工事成績採点表(完成・中間)

2018/1/1 以降

平成 年 月 日 作成  
工事検査課

1. 500万円以上の場合

工事名		契約金額(最終)																								
受注者		工期		平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日										完成年月日												
考 査 項 目		①総括監督員(完成)					②検査員(中間)					③検査員(完成)					④検査員(完成)									
		職氏名					職氏名					職氏名					職氏名									
項目	細 別	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	b	c	d	e	
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+2.0	+1.0	0	-5.0	-10																				
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10																				
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15						
	II. 工程管理	+7.0	+3.5	0	-5.0	-10																				
	III. 安全対策	+9.0	+4.5	0	-5.0	-10																				
	IV. 対外関係	+3.0	+1.5	0	-2.5	-5.0																				
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0	+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20	+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20						
	II. 品質	+3.0	+1.5	0	-2.5	-5.0	+16	+12	+8.0	+4.0	0	-12.5	-25	+16	+12	+8.0	+4.0	0	-12.5	-25						
	III. 出来ばえ						+4.0		+2.0		0	-5.0		+4.0		+2.0		0	-5.0							
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応 ※2																								0	
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※3																								0	
6. 社会性等	I. 地域への貢献等																								0	
加減点合計 (1+2+3+4+5+6)		点					点					点					点									
評定点(65点±加減点合計) ※1		① 点					② 点					③ 点					④ 点									
7. 評定点計		点					○中間検査があった場合:(① 点×0.4+② 点×0.2+③ 点×0.22+④ 点×0.18)= 点 但し、中間検査が2回以上あった場合には、平均値を用いること。 ○中間検査がなかった場合:(① 点×0.4+③ 点×0.42+④ 点×0.18)= 点																			
8. 法令遵守等 ※4		点																								
9. 評定点合計 ※5		点					○7. 評定点計-8. 法令遵守等																			
所 見 ※6		【総括監督員】										【検査員】														

※1 65点+1. ~3. の評定(加減点合計)+4. ~6. の評定(加点合計) = 評定点。各評定点(①~④)は小数第1位まで記入する。  
 ※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特異な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。  
 ※3 創意工夫は、工事特性のような難度を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があった場合に評価する項目である。  
 ※4 法令遵守等の評価は、総括監督員が行い、減点評価のみとする。  
 ※5 評定点合計は、四捨五入により整数とする。なお、各考査項目毎の採点は、別紙「工事成績採点の考査項目別運用表」による。  
 ※6 所見は必ず記載する。  
 ※7 部分引渡し検査は、検査員のみが評定し、中間検査と同様の取り扱いとする。従って、部分引渡し検査1回、中間検査1回の場合はその平均値とする。